

リニアテクノロジー、新製品「LTC2933」を販売開始

しきい値精度 1%、EEPROM 内蔵のプログラム可能な 6 電圧スーパーバイザ

リニアテクノロジー株式会社は、0.2V～13.9V の最大 6 つの電圧レールを同時に高精度でモニタできる、EEPROM 内蔵のプログラム可能な電圧スーパーバイザ「[LTC2933](http://www.linear-tech.co.jp/product/LTC2933)」の販売を開始しました。LTC2933 には、0°C～+70°Cの動作温度範囲で仕様が規定されたコマーシャル・グレード・バージョンと、-40°C～+85°Cの動作温度範囲で仕様が規定されたインダストリアル・グレード・バージョンがあります。LTC2933 は、RoHS 準拠の小型 16 ピン 5mm x 4mm DFN パッケージまたは細型 16 ピン SSOP パッケージで供給され、1,000 個時の参考単価は 4.85 ドルからで、リニアテクノロジー国内販売代理店各社経由で販売されます。製品の詳細情報は、リニアテクノロジーの Web サイトをご参照ください(www.linear-tech.co.jp/product/LTC2933)。

LTC2933 は外付け抵抗なしで、しきい値を設定可能であり、内蔵 EEPROM にアクセスするための I²C/SMBus インタフェースを搭載しています。そのためユーザは使いやすい LTpowerPlay™ グラフィカル・ユーザ・インタフェースにより、迅速なデバイスの構成や、フォルトまたは違反履歴の見直しを行うことができます。1 つの高電圧チャネルを含む 6 つの電圧モニタ・チャネルは入力範囲を選択でき、全温度範囲で 1%のしきい値精度が保証されています。LTC2933 は 1%という高い電源しきい値精度により、比較的精度の低い電圧スーパーバイザと比べて、必要なシステム電圧マージンが少なくてすみずみです。

LTC2933 の各チャネルは、256 種類の利用可能な過電圧(OV)および低電圧(UV)フォルトまたは警告しきい値の 1 つに設定可能です。また、これは電源のマージニングを行うために、ディスエーブルすることもできます。柔軟に設定できる LTC2933 は、マニュアル・リセット入力、UV ディスエーブル入力、マージン・イネーブル入力、または補助コンパレータ入力として設定可能な 2 つの汎用入力(GPI)ピンを備えています。さらに、3 つの汎用入力/出力(GPIO)ピンは、ユーザが設定した入力、電源フォルト出力、SMBus 規格準拠の/ALERT 出力、または割り込みの、あらゆる組み合わせに対応付けが可能で、設計の柔軟性を最大限に高めることができます。出力のタイプ(オープンドレインまたは弱いプルアップ)、極性、立上げ遅延を、すべての GPIO ピンで個別に設定できます。また、十分に安定化された 3.3V 出力を使って、負電源をモニタすることができます。ピンで選択可能な 3 種類の I²C アドレスも利用できます。

LTC2933 は、ネットワーク・サーバ、データ・ストレージ、通信機器、産業用制御、高可用性コンピュータ・システムなどのアプリケーションにおいて、システムの信頼性を高めることを目的として設計されています。LTC2933 は EEPROM を使ってコンフィグレーション・データを保存します。この EEPROM は全温度範囲でテストされ、少なくとも 10 年間のデータ保持が保証されています。

LTC2933 の主な特長:

- 6 つの電源を監視
- 低電圧および過電圧のトリップ・ポイントを I²C で調整可能

しきい値精度 1%、EEPROM 内蔵のプログラム可能な 6 電圧スーパーバイザ

- 保証しきい値精度: $\pm 1\%$
- I²C/SMBus インタフェース
- EEPROM 内蔵
- 1 チャンネル当たりのプログラム可能なしきい値: 256 種類
- 1 チャンネル当たり最大 3 つの範囲設定
- 2 つの汎用入力
- 3 つの汎用入力/出力
- プログラム可能な出力遅延
- 電源電圧範囲: 3.4V~13.9V
- 電源電圧の電力を共有: V1~V4
- 5mm x 4mm の 16 ピン DFN パッケージおよび細型 SSOP-16 パッケージ

フォトキャプション: 過電圧/低電圧トリップしきい値をプログラム可能な 1%精度の 6 電圧スーパーバイザ

Copyright: 2014 Linear Technology Corporation

###

リニアテクノロジーについて

S&P 500 の一員であるリニアテクノロジーは、過去 30 年にわたり広範囲に渡る高性能アナログ IC の設計・製造及びマーケティング活動を行い、世界中の多くの企業に提供しています。リニアテクノロジーの半導体は、私たちのアナログ世界と「通信」、「ネットワーキング」、「産業」、「自動車」、「コンピュータ」、「医療」、「精密機器」、「民生」さらには「軍需航空宇宙」システムで幅広く使用されている、デジタル・エレクトロニクスとの架け橋の役目を担っています。リニアテクノロジーは、パワーマネージメント、データ変換、信号調整、RF、インタフェース、 μ Module サブシステム及びワイヤレス・センサ・ネットワーク製品を設計・製造・販売しています。詳細は同社 Web サイトをご参照ください。

<http://www.linear-tech.co.jp>

LT, LTC, LTM, Burst Mode, μ Module, Over-the-Top, LTP 及び会社ロゴは Linear Technology Corporation の登録商標です。LTPowerPlay, FracNWizard 及び ClockWizard は Linear Technology Corporation の商標です。その他の登録商標・商標は、それぞれの所有者にその権利が帰属します。記載内容は予告なしに変更される場合があります。

メディアの方お問い合わせ先:

ミアキス・アソシエイツ 河西(かさい)

Email: linear-pr@miacis.com

記事掲載時お問合せ先:

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-6 紀尾井町パークビル 8F

リニアテクノロジー株式会社 TEL: 03-5226-7291(代表)

<http://www.linear-tech.jp>

本社メディア担当者

John Hamburger, Director Marketing Communications

jhamburger@linear.com 408-432-1900 ext 2419

Doug Dickinson, Media Relations Manager

ddickinson@linear.com 408-432-1900 ext 2233

以上